Ryukoku University

Press Release

2026 年 11 月 16 日

柴咲コウが総合プロデュースするサステナビューティーフェス 2027 に龍谷大学が共創パートナーとして参画

企画段階から学生が参画し、運営やコンテンツづくりに学生視点を反映する

【本件のポイント】

- 2027 年 5 月に、大阪城音楽堂および河口湖ステラシアターにて、柴咲コウが総合プロデューサーを務める音楽フェスティバル「SUSTAINABLE BEAUTY FES 2027」が開催される。
- 龍谷大学は 2026 年に開催された本フェスに共創パートナーとして参画。学生が携わった会場内における資源利用や廃棄物の計測の結果が活用された「サステナビリティ・環境インパクトレポート」が完成した。レポートでは成果と課題を可視化し、2027 年に向けた取り組み方針を示している。
- 「SUSTAINABLE BEAUTY FES 2027」では、企画段階から学生が参画できる体制を構築し、運営やコンテンツづくりにも学生の視点を反映する予定。次世代を担う学生たちがサステナブルなイベント運営の最前線で学び、挑戦する経験をとおして、持続可能な社会の実現に向けた新たな一歩とする。



龍谷大学（学長：安藤徹、所在地：京都市伏見区）は、柴咲コウが総合プロデューサーを務める音楽フェスティバル「SUSTAINABLE BEAUTY FES 2027」（主催：レトロワグラース株式会社）に共創パートナーとして参画します。本フェスは、2027 年 5 月 1 日（土）に大阪城音楽堂、5 月 29 日（土）・30 日（日）に河口湖ステラシアターで開催されます。

本学は、2026 年 5 月に山梨県・河口湖ステラシアターにて開催された「SUSTAINABLE BEAUTY FES 2026」にも共創パートナーとして参画し、サステナビリティに関する取り組みを学術的な視点から深化させています。フェス当日には、学生がボランティアとして参加し、会場内における資源利用や廃棄物の計測などのデータ収集に携わりました。この度、収集したデータを活用した「サステナビリティ・環境インパクトレポート」が完成しました。

「SUSTAINABLE BEAUTY FES 2027」では、2026 年の河口湖 2 日間開催から大阪を加え、2 都市 3 日間へ規模を拡大します。さらに、企画段階から学生が参画できる体制を構築し、運営やコンテンツづくりにも学生の視点を反映していく予定です。次世代を担う学生たちがサステナブルなイベント運営の最前線で学び、挑戦する経験は、持続可能な社会の実現に向けた新たな一歩になると考えています。

【「SUSTAINABLE BEAUTY FES 2026」 サステナビリティ・ 環境インパクトレポート】

2026 年 5 月 23 日（土）・24 日（日）に河口湖ステラシアターで初開催した「SUSTAINABLE BEAUTY FES 2026」では、来場者やスタッフの移動、資材輸送、資源・ごみ処理に伴う CO_2排出量を計測しました。会場ではリユース食器やリユースアルミカップを導入し、来場者、出演者、スタッフがエコステーションで 10 種類の分別に参加しました。

CO_2排出量：63.7 t-CO_2　来場者・スタッフの移動、資材輸送、資源・ごみ処理を計測
オフセット：63 t-CO_2　農業由来クレジット 53t と山梨県の森林保全につながるクレジット 10t
資源循環：回収した資源・ごみ 283.4kg のうち 145.5kg を資源化　資源循環率 51.3%
リユース食器：1,960 点を使用　可燃ごみ約 13.8kg を削減
分別：10 分別のエコステーションを運営
計測には EVENT CARBON SIMULATOR および RECOTECH pool を使用し、龍谷大学が監修しました。レポートでは、2026 年の成果と課題を可視化し、2027 年に向けて来場者移動に伴う CO_2の削減、計測範囲の拡大、資源循環率の向上に取り組む方針を示しています。
レポート全文：https://sustainabeauty.jp/wp-content/themes/inspiro/sbfes2027-launch/assets/sbfes2026-impact-report.pdf

【総合プロデューサー　柴咲コウ　コメント】

「楽しいから、はじめよう」をスローガンに、サステナビューティーフェスの初開催という一歩を踏み出すことができました。「楽しい、だから始めてみよう」「楽しい！というところから始めてみよう」という二つの意味を込めたコンセプトを、来場してくださった皆さんに音楽や出展を通じて体感してもらえたことを嬉しく思います。

ごみの削減や環境負荷の低減を参加者に強いるのではなく、一人ひとりが自然に気づきや発見を持ち帰れる場を目指しました。共創パートナーとして尽力いただいた龍谷大学には、私たちが直感や感覚で描く姿を、計測や分析の視点から支えていただきました。

目の前がクリーンで美しいこと、ごみを出す罪悪感が少ないこと、その場の調和の中で「美味しい」「心地よい」と感じること。そうした体験が、前向きなきっかけになっていたら幸いです。

柴咲コウ プロフィール



俳優・アーティスト・実業家。2008 年より環境省「環境特別広報大使」を務めるなど、持続可能な社会の実現に向けた活動を継続。2016 年にレトロワグラース株式会社を設立し、衣・食・住を通じてサステナブルなライフスタイルを提案。「SUSTAINABLE BEAUTY」を提唱し、環境と人が調和する未来づくりに取り組んでいる。

【サステナブルプロデューサー 深本南 コメント】

総合プロデューサーが掲げる「楽しいから、はじめよう」を体現するため、音楽を楽しみ、美味しいものを食べ、河口湖の豊かな自然に触れる。その一つひとつの体験が、気づけばエシカルな選択につながるよう、サステナブルな運営を設計しました。

20 代から音楽フェスの環境対策に携わってきましたが、近年は社会課題を解決する多様なソリューションが生まれ、それらを一つの場で実装できる時代になりました。サステナブルな未来を描く企業や団体、思いに共感してくださったアーティストや出店者、そして来場者の皆さんの力が重なり、このイベントを実現できました。今回の共創を通じ、このフェスにはさらに大きな可能性があると実感しています。



新たなソリューションや企業・団体との出会いを通じ、ともに美しい社会変革を生み出せるイベントへ育てていきたいと考えています。

深本南 プロフィール

社会起業家。2020 年にサステナブルメディア「ELEMINIST」を立ち上げ、2026 年にはサステナビリティを起点に企業の事業成長を支援するカンパニー「eleventh hour」を設立。生活者の価値観を捉えた戦略設計から商品・サービス開発、ブランド構築、コミュニケーションまでを一貫してプロデュースし、共感を行動変容へつなげるプロジェクトを手がけている。

【SUSTAINABLE BEAUTY FES 2027 開催概要】

イベント名：SUSTAINABLE BEAUTY FES 2027 (サステナビューティーフェス 2027) - Butterfly Effect -
総合プロデューサー：柴咲コウ
サステナブルプロデューサー：深本南
開催日時・場所：
(大阪)2027 年 5 月 1 日（土） 大阪城音楽堂
(山梨)2027 年 5 月 29 日（土）・30 日（日） 河口湖ステラシアター
会場：河口湖ステラシアター（野外音楽堂・可動式屋根付）山梨県南都留郡富士河口湖町船津 5577

主催：Les Trois Graces
制作：ALIVE
Co-create Partner：龍谷大学
お問い合わせ先：
(大阪)YUMEBANCHI(大阪)｜06-6341-3525 (平日12:00~17:00)／https://www.yumebanchi.jp
(山梨)サンデーフォーク静岡 ｜054-284-9999(月～土12:00～18:00)
公式サイト：https://sustainabeauty.jp

【「サステナビューティープロジェクト」について】
レトロワグラースが大切にしているのは、“サステナブル＝難しい”という固定観念を超えた新しい美しさのかたち。心惹かれるのは、「素敵！」「試してみたい！」という純粋なときめき。手に取ったそのひとつが実は環境にやさしく生まれていたと知った時、日常が少し誇らしく、豊かになる。サステナブルは義務ではなく、自然に続いていく美しさの選択。軽やかで洗練された体験を楽しみながら、気づけば未来へつながる一歩を踏み出している。それが、レトロワグラースの考えるサステナビューティー。「サステナブルだから選ぶ」のではなく、「選びたいと思ったものが、実はサステナブルだった」。その気づきが、日常に美しさと誇らしさを添えてくれることを願っています。【引用：サステナビューティーフェス】

【龍谷大学の新学部について】
龍谷大学では、2027 年 4 月に瀬田キャンパスに新たに「環境サステナビリティ学部」と「情報学部」を設置する構想に至りました。
「環境サステナビリティ学部」では、サステナビューティーフェスの「楽しいから、はじめよう」というメッセージと同様に“「好き」からはじめて、「つながる」「ひろがる」環境の学び”を展開します。文系・理系を問わず、様々な学問の基礎に触れ、確信となった各自の興味に基づいて 5 つの「専門教育プログラム」から学びを選択します。地域デザイン、ネイチャーポジティブ経営、生物多様性回復、資源循環利用、持続的水資源管理といった専門性を深め、実践的に課題解決に向き合える次世代の環境人材育成をめざします。
（特設サイト）https://www.ryukoku.ac.jp/newf2/